



# 2019年度 決算説明会 イビデン株式会社(4062)

2020年4月28日

**このプレゼンテーション資料には、2020年4月27日現在の将来に**

**関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。**

**世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因**

**により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。**

# 2019年度 実績

# 2019年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 実績



## 売上高

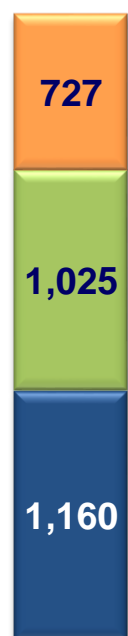
(億円)

前年同期比  
+1.7%

2,911

3,000

2,960



[ ]は  
前年同期比

その他  
[ +4%]

セラミック  
[ ▲14%]

電子  
[ +14%]

## 営業利益

(億円)

前年同期比  
+94.2%

3.5%

5.7%

6.7%

営業利益率

[ ]は  
前年同期比

101

170

197

46

50

58

30

10

149

25

110

10

その他  
[ +24%]

電子  
[ +488%]

セラミック

実績  
18年度

2/5  
開示

実績  
19年度

## 純利益

(億円)

前年同期比  
+242.7%

1.1%

3.0%

3.8%

純利益率

33

90

113

実績  
18年度

2/5  
開示

実績  
19年度

109	108	108	為替(ドル)
127	121	120	為替(ユーロ)

# 市場見通しと 当社事業展望

# [電子] 既存市場の動向

- パソコン : Win10買い替え需要一巡するも、テレワークの加速により下げ幅は緩和
- ハイエンドスマホ : 足元はマイナス基調 5Gサービス開始により、中期では成長の見通し
- データセンター : 企業活動を中心にデジタル化・クラウド化が加速、20%を超える成長堅持

## パソコン市場

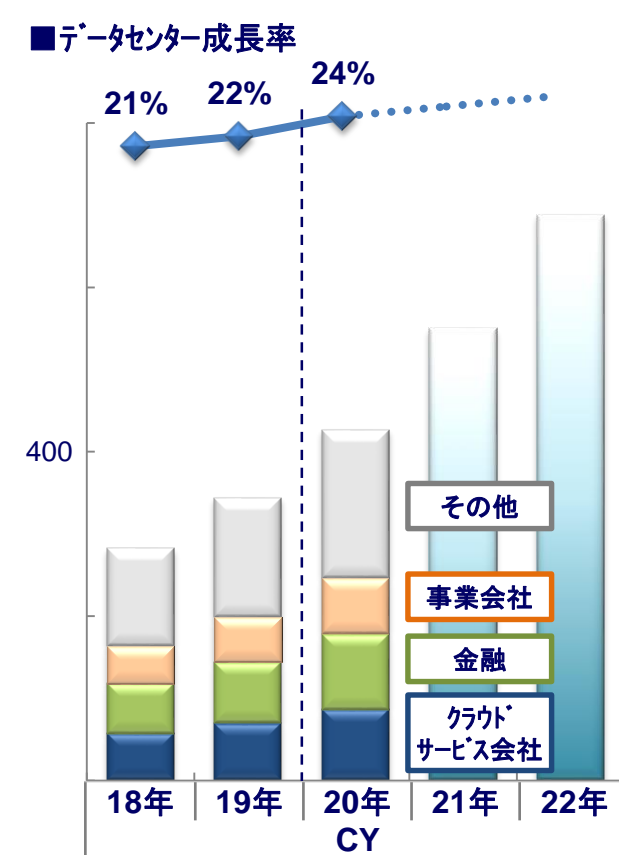
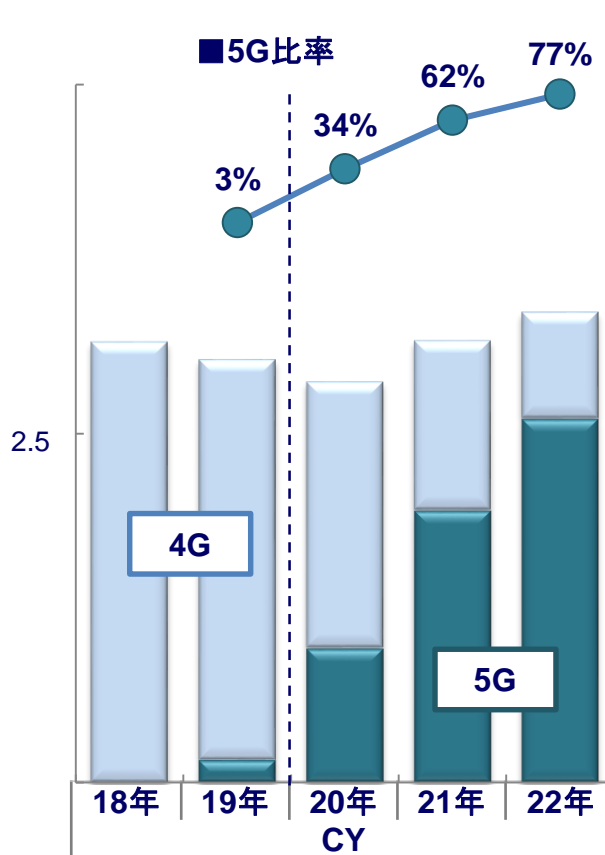
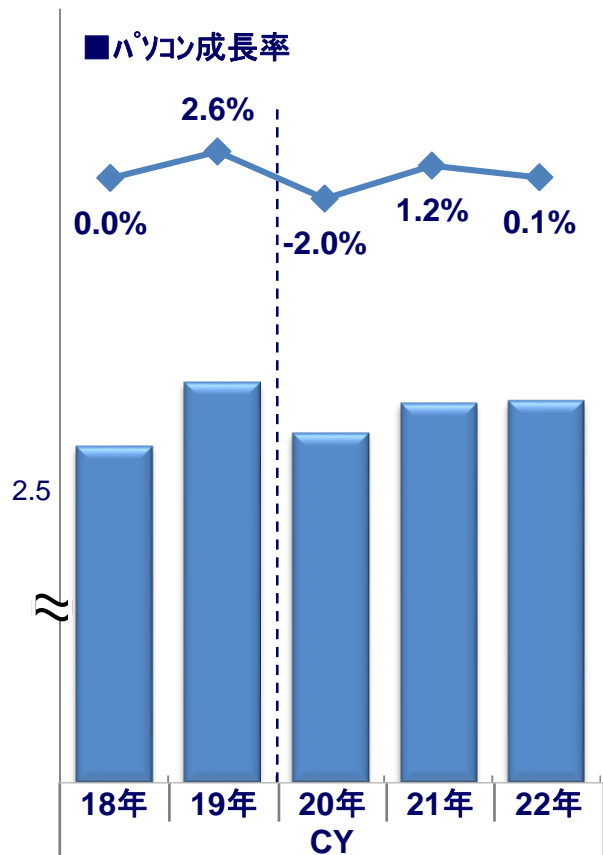
## ハイエンドスマホ市場

## データセンター市場

(単位:億台) (当社調べ)

(単位:億台) (当社調べ)

(単位:億ドル) (当社調べ)



# [セラミック] 自動車販売台数の長期見通し

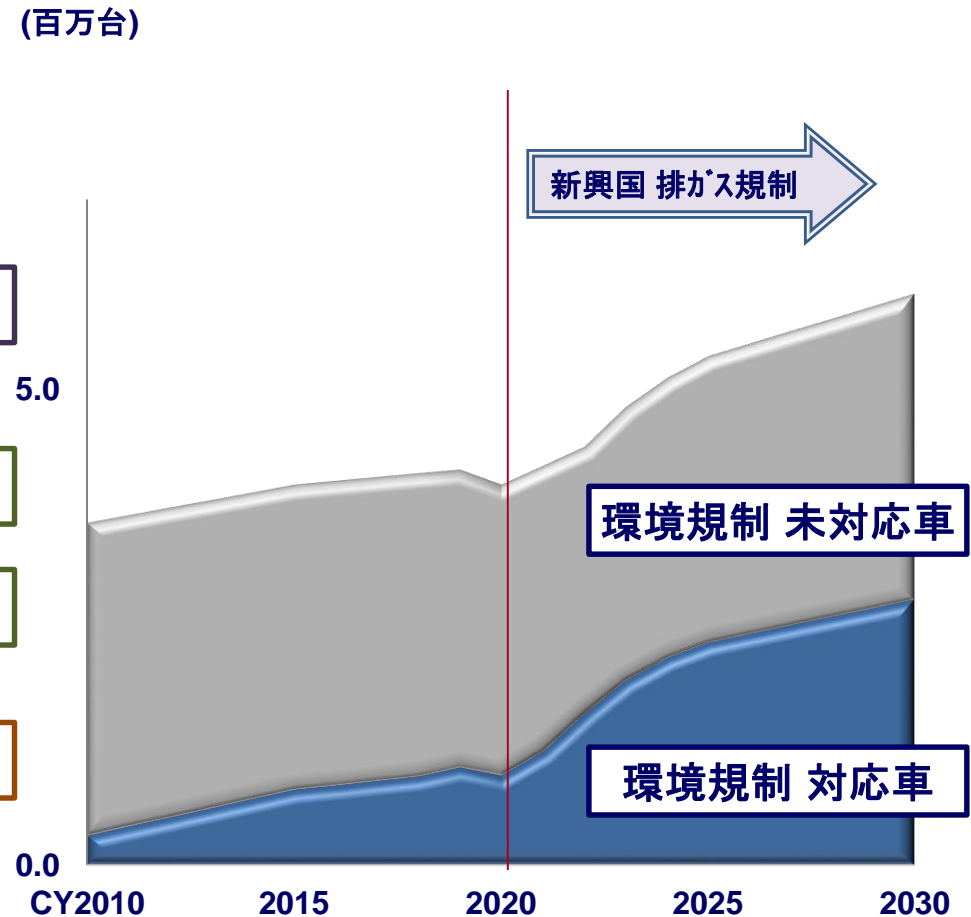
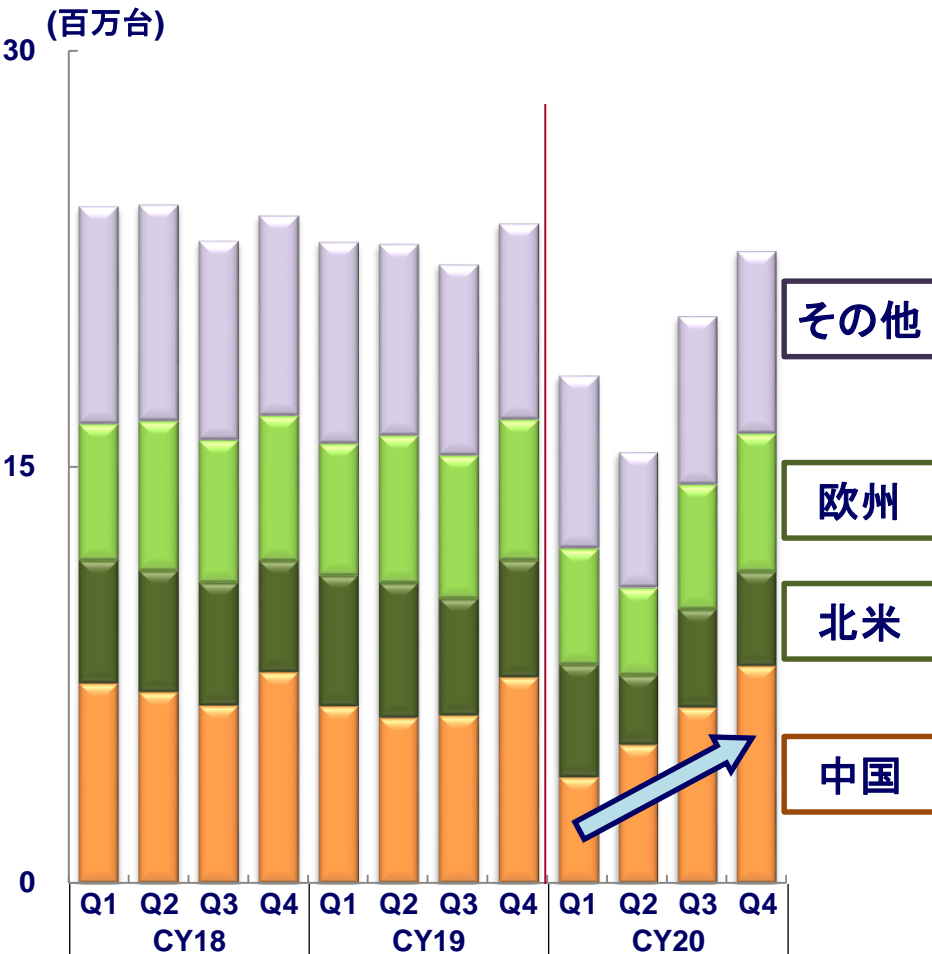
- 乗用車市場 : COVID-19による影響で足元は急減速、回復はQ3以降の見通し
- 中・大型車市場 : 新興国の排ガス規制強化により、中・長期で需要拡大の見通し

## 乗用車

(当社調べ)

## 中・大型商用車

(当社調べ)



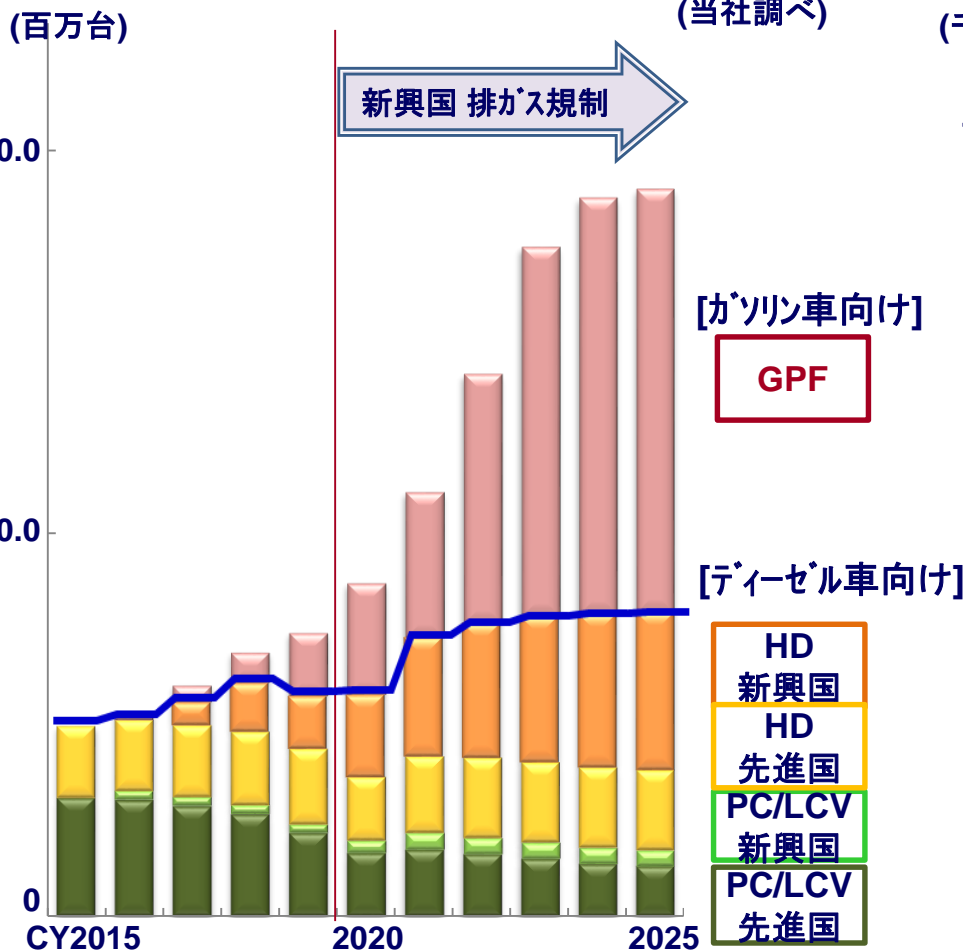
# [セラミック] 排気系事業

\*PC : Passenger Car (乗用車)  
 \*LCV : Light Commercial Vehicle (小型商用車)  
 \*HD : Heavy Duty Car (大型車) = 乗用車の約3倍換算

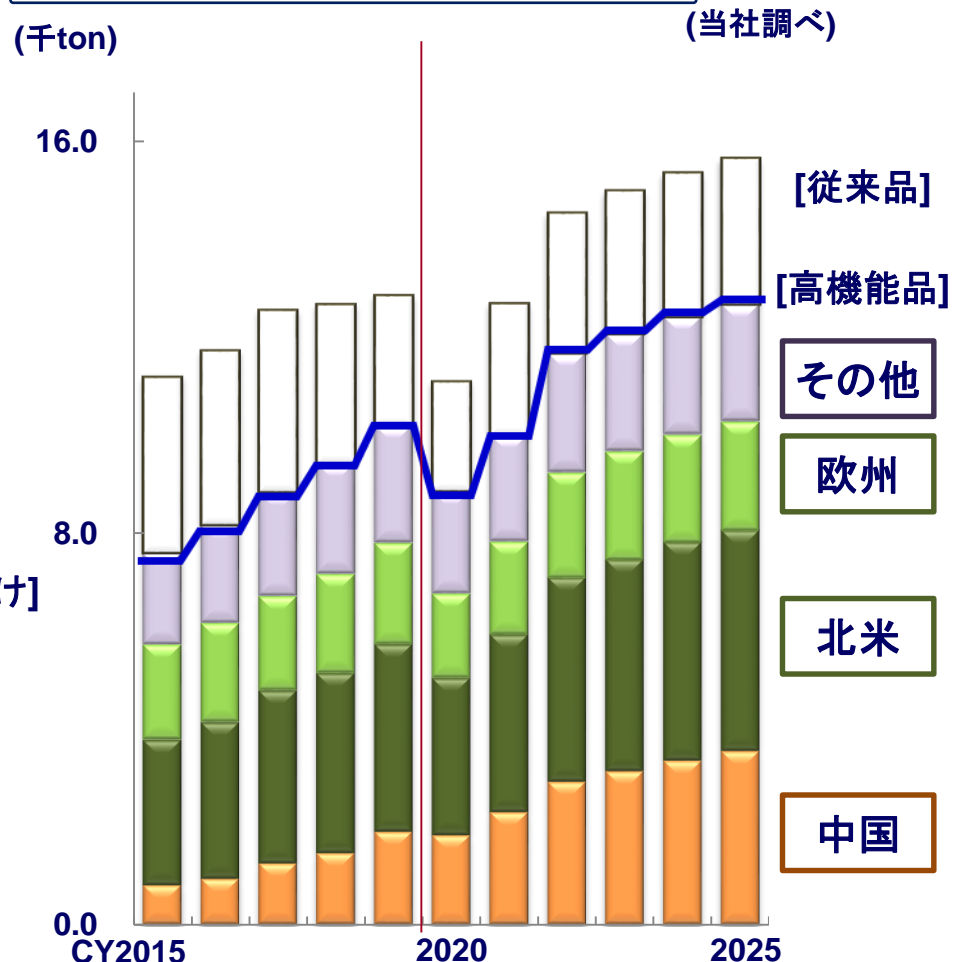


- 市場変化に対応し、ハンガリー・メキシコ・日本の3極で最適かつ効率的な生産体制を継続する
- 排ガス規制強化に伴い、中国を中心に触媒担体保持・シール材の需要拡大

## DPF/GPF市場



## 自動車用触媒担体・保持シール材





# 触媒担体保持・シール材(AFP) = 中国に新生産拠点設立 = IBIDEN

環境規制強化に伴い、自動車用の触媒担体保持・シール材の需要拡大が見込まれる中国に新たな生産拠点を設立し、同製品の受注拡大及び顧客サポート強化を図る



新拠点 竣工イメージ



新拠点 ロケーション

## <設備投資の概要(予定)>

- (1) 会社名 : 化デンファインセラミック蘇州株式会社  
IBIDEN Fine Ceramics(Suzhou) Co.,Ltd.
- (2) 投資額 : 約25億円
- (3) 設立場所 : 中華人民共和国 江蘇省
- (4) 稼働時期 : 2021年度上期(予定)より稼働開始



触媒担体保持・シール材

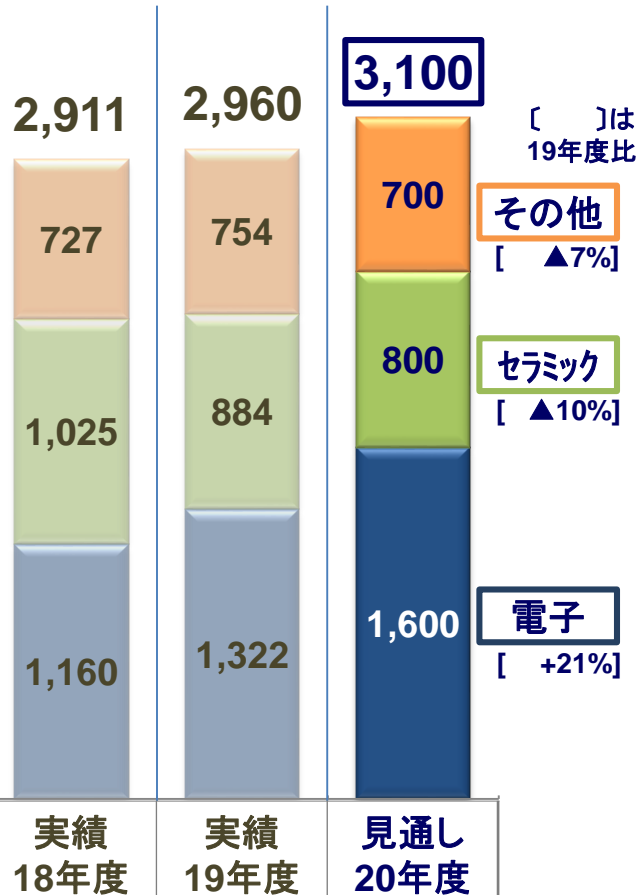
# 2020年度 見通し

# 2020年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 見通し **IBIDEN**

## 売上高

(億円)

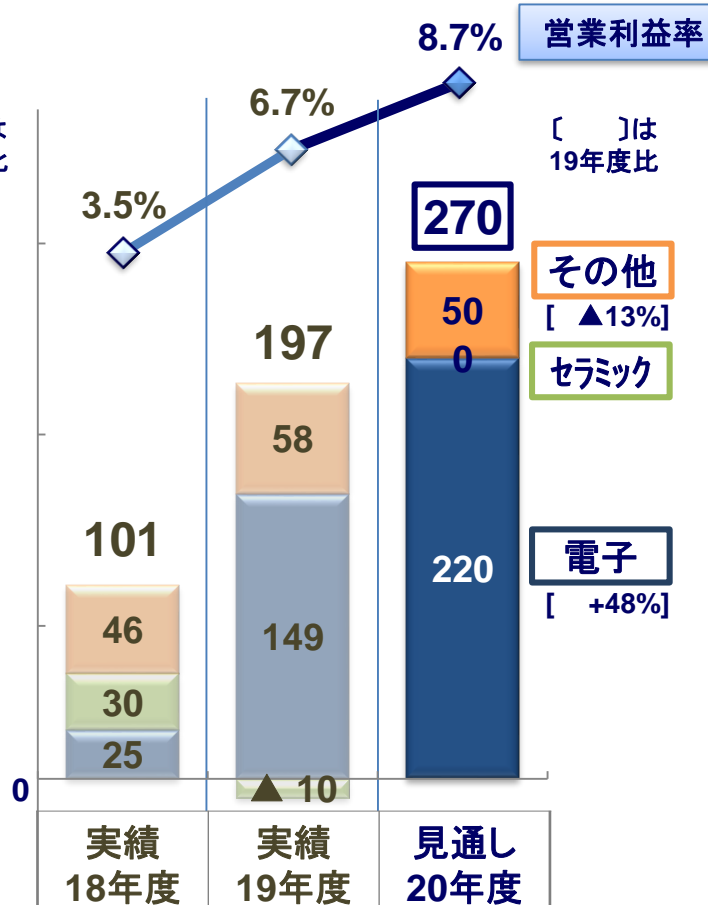
19年度比  
+4.7%



## 営業利益

(億円)

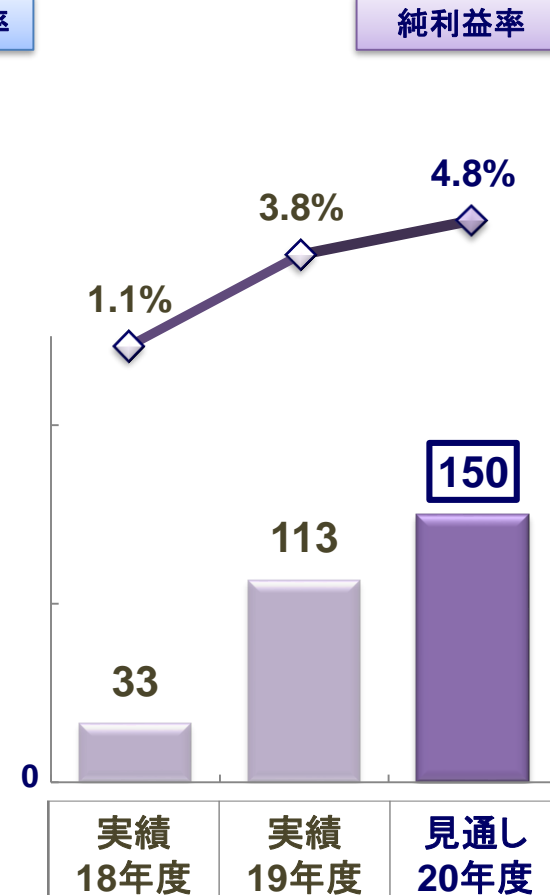
19年度比  
+37.2%



## 純利益

(億円)

19年度比  
+32.4%



実績 18年度	実績 19年度	見通し 20年度	為替(ドル)
109	108	105	為替(ドル)
127	120	115	為替(ユーロ)

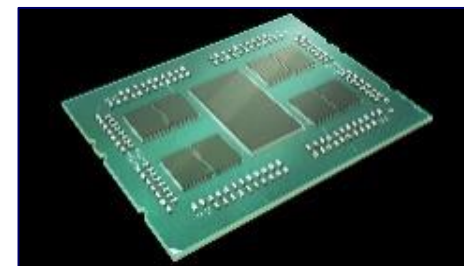
# 中期業績 見通し

# ICパッケージ基板生産設備の能増更新及び次世代対応投資 **IBIDEN**

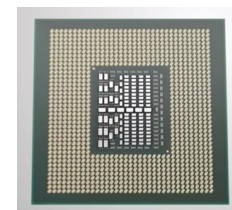
サーバー・画像処理を中心とした高機能ICパッケージ基板の需要に対応するため、次世代技術対応も見据え、生産設備のリニューアル及び能力増強投資を行う。



大垣中央事業場(全景)



高機能ICパッケージ基板



従来型ICパッケージ基板

## <設備投資の概要(予定)>

- (1) 投資内容：ICパッケージ基板生産設備の能増更新及び次世代対応投資(第2期投資)
- (2) 投資額：600億円(2020～2022年度合計、第1期投資と合わせた総額は1,300億円)
- (3) 設置場所：大垣中央事業場(第2棟)
- (4) 稼働時期：2020年度末より順次稼働開始し、2021年度より量産開始の計画



# 新製品開発

## 抗ウイルス・ビジネス

「ウイルスに負けない社会を目指すために」

### ■ 抗ウイルスメラミン化粧板

### ■ 抗ウイルスコート

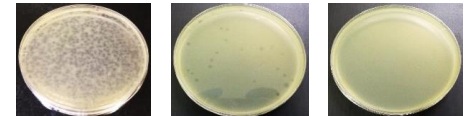
【施工事例】

【特徴】



① ウイルス/細菌に対する即効性

90%減 99.9%減※



0分後 5分後 15分後

② 1年以上の耐久性

※社内試験用Qβファージウイルスを用いた測定値

## バイオ・ビジネス

「環境と健康に配慮するために」

### ■ 植物性タンパク質製品

### ■ 植物機能活性剤

植物性  
タンパク質

最終製品

化デン独自菌  
+ 発酵技術

病害抑制・収量アップ



コア技術

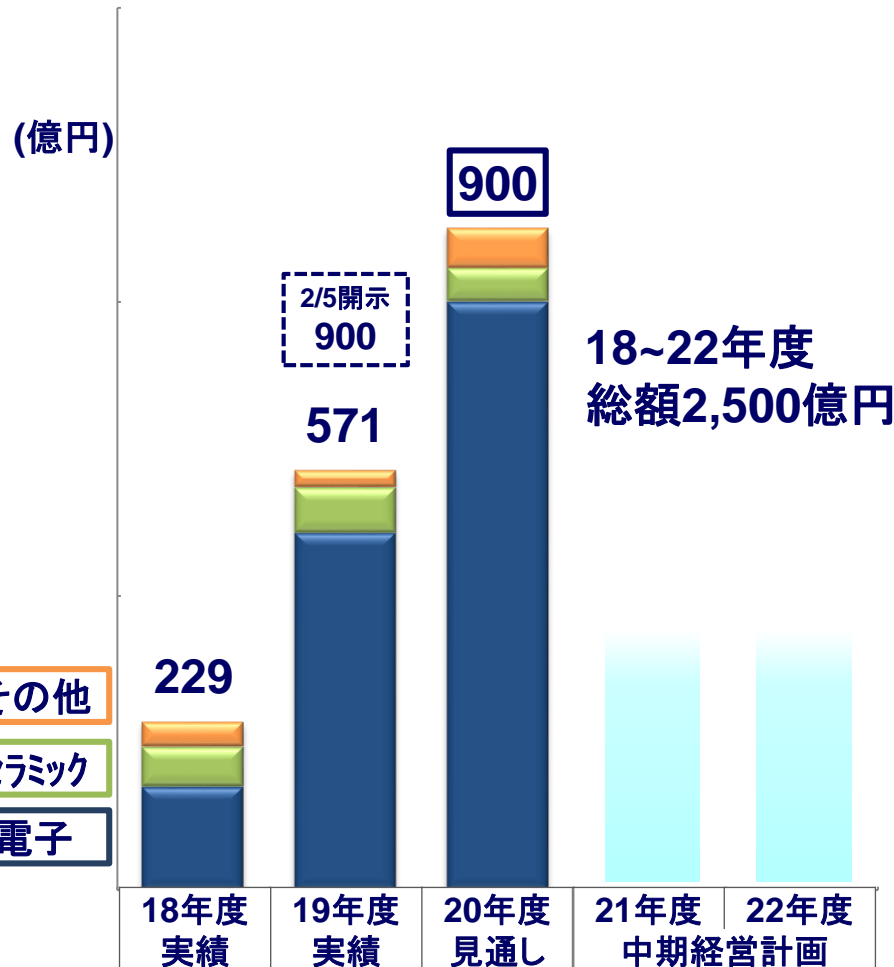
植物性タンパク質から動物性タンパク質の風味・食感を実現

独自菌から生まれたバイオ資材で植物免疫力を向上

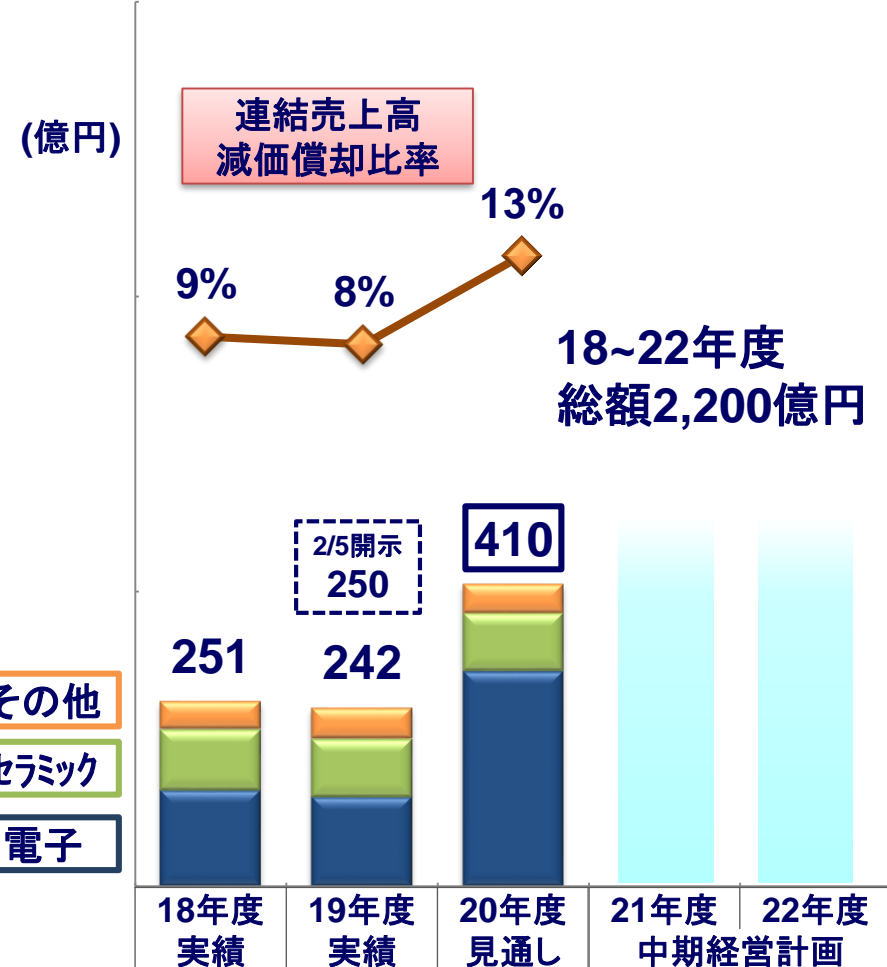
# 設備投資(検収)額・減価償却費の計画

□ デジタル社会や環境対応など、伸びる市場・分野に積極的に先行投資を行う

## 設備投資額



## 減価償却費

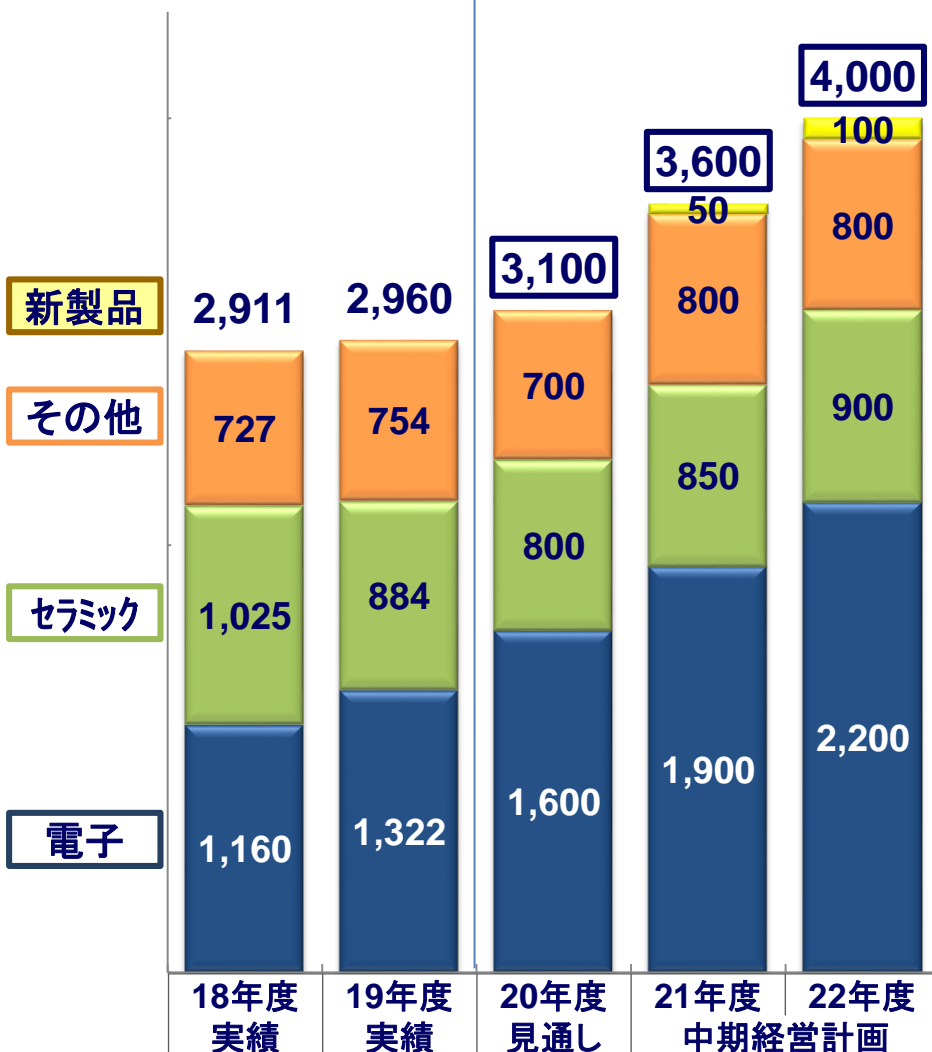


# 中期 業績見通し



## 売上高

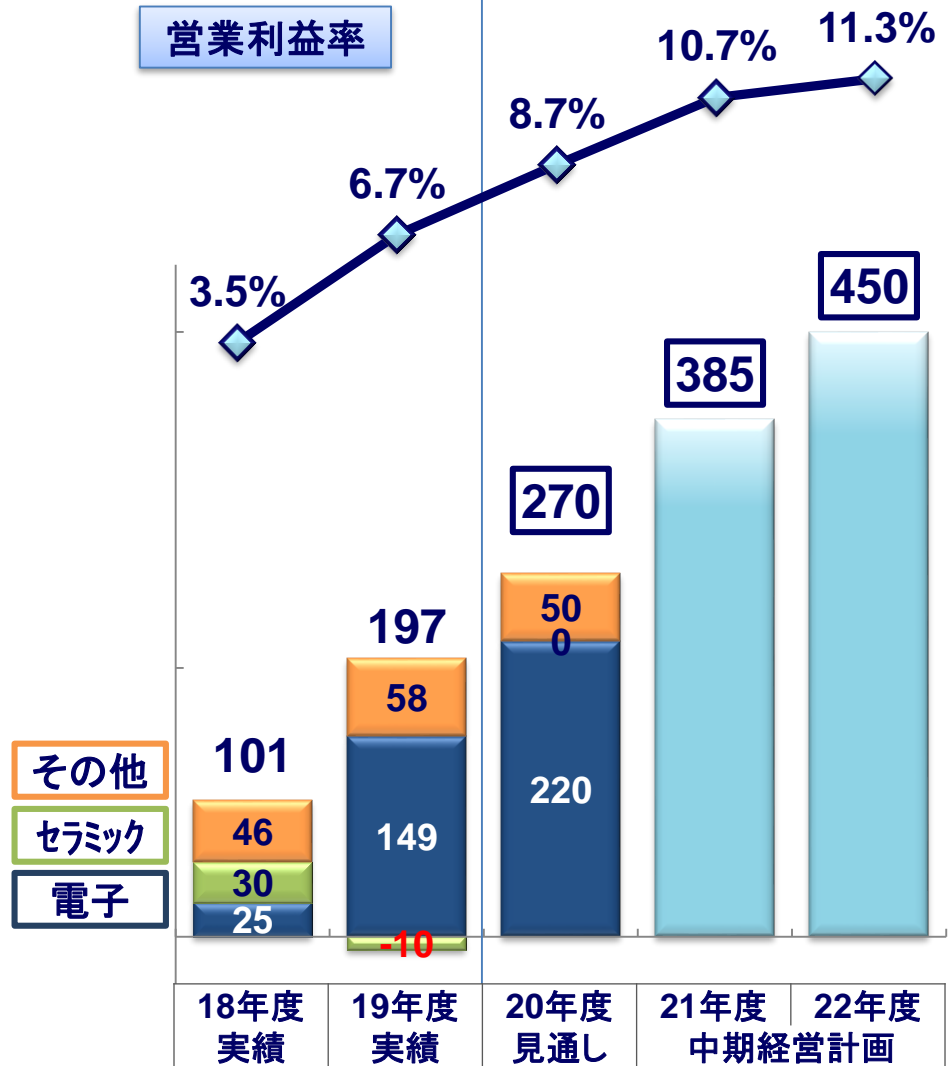
(億円)



## 営業利益

(億円)

### 営業利益率

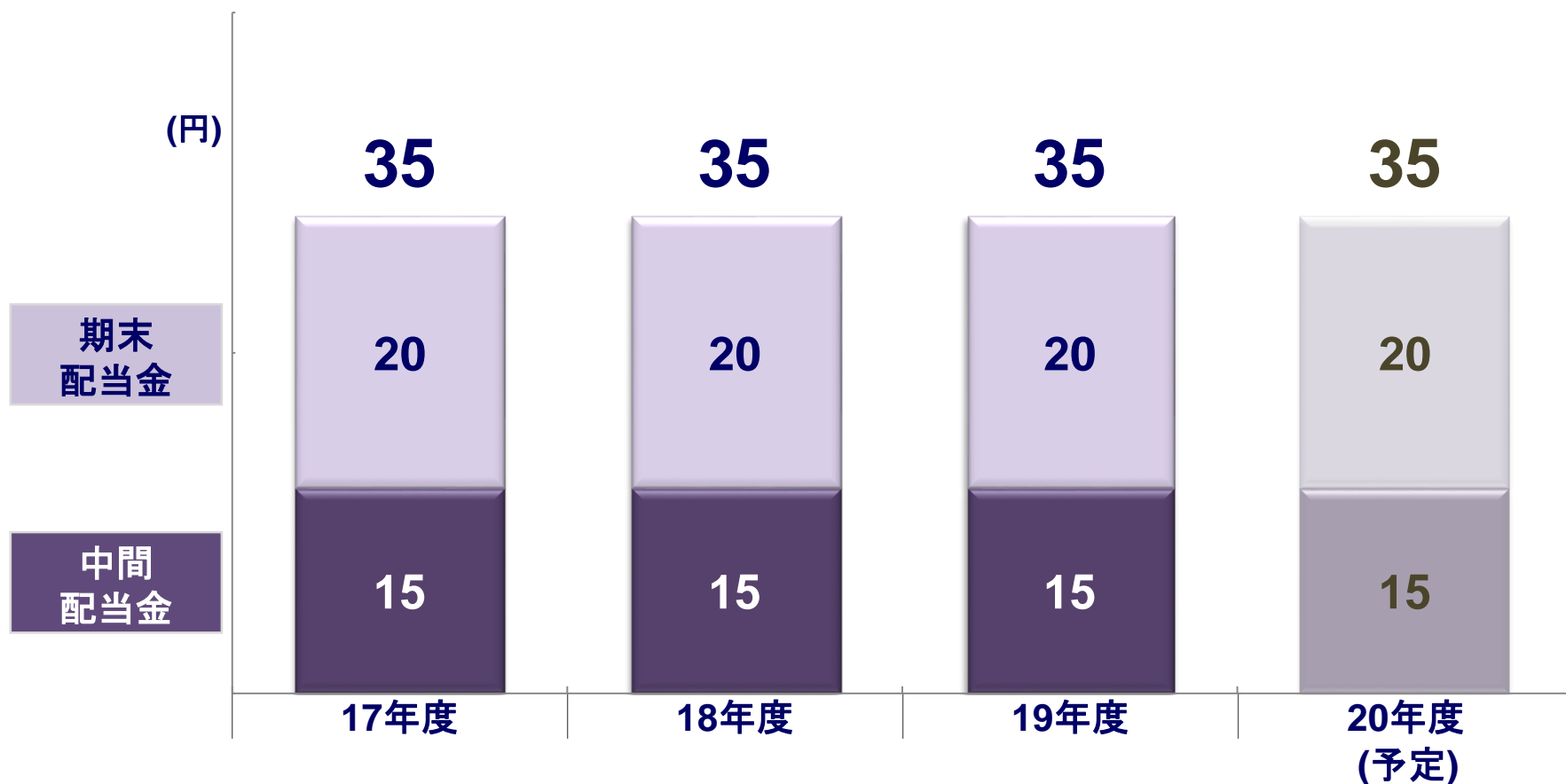




# 株主還元

- 資本配分の考え方として、当面はICパッケージ基板向け大型投資を優先する
- 安定配当を継続する

## 一株当たり配当金



# ESG経営の推進

## ビジネスでの貢献

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

**情報化社会**



ICパッケージ基板で、デジタルイノベーションの実現に貢献

11 住み続けられるまちづくりを

**大気汚染**



排気ガス浄化フィルター(DPF)で、大気の質の改善に貢献

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

**気候変動問題**



エネルギー制御材料で、燃費向上に貢献

## 基盤活動での貢献

5 ジェンダー平等を實現しよう

**[多様な人材の活躍]**  
女性・障がい者・高齢者・外国人の登用

8 働きがいも経済成長も

**[働き甲斐と持続的成長の両立]**  
働き方改革、人の生産性の改善

12 つくる責任 つかう責任

**[サプライチェーンの環境負荷低減]**  
取引先へのCSRガイドラインの展開

13 気候変動に具体的な対策を

**[温室効果ガスの排出削減]**  
再エネの活用、高効率プロセスの設計

## ESG外部認証

MSCI | 2019 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数

(ESG格付最上位のAAAを取得)



FTSE4Good

(4年連続で選定)



FTSE Blossom  
Japan

(3年連続で選定)

Corporate ESG  
Performance

RATED BY  
ISS ESG

Prime

(3年連続で選定)

(免責事項)

MSCI：イビデン株式会社のMSCIインデックスへの組入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるイビデン株式会社の後援、宣伝、販売促進ではありません。

MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

FTSE：FTSE Russell (FTSE International Limited) と Frank Russell Company の登録商標)はここにイビデン株式会社が第三者調査の結果、FTSE4Good Index SeriesとFTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、両インデックスの構成銘柄となったことを証します。これらのインデックスは、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計され、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



***IBIDEN***